

実験動物施設における環境の推奨値

1. バリア施設（マウス、ラット、モルモット、ウサギ）

動物種 環境要因	マウス	ラット	モルモット	ウサギ	備考
落下菌※ ¹	3 個以下（清浄域内の空時動物飼育室）				
温度	23℃±3℃（20～26℃）		22℃±3℃（19～25℃）		無毛マウスの飼育エリア： 25℃±3℃（22～28℃）
湿度	55%±15%（40～70%）				無毛マウスの飼育エリア： 60%±15%（45～75%）
換気回数	8～15 回/時（給排気の方式によって適正値を決定）				
気圧（差圧）	飼育室は前室・廊下より 20Pa 以上高くする				
臭気（アンモニア）	20ppm 以下				
照度	150～300 lx（測定位置：床上 80～85cm）				
飲料水・塩素濃度	0.1mg/L 以上※ ²				生産施設：3～6mg/L
飲料水・細菌	大腸菌は検出せず 一般細菌は 100 個/ml 以下				

※¹：9cm 径シャーレ 30 分開放（血液寒天 48 時間培養）

※²：水道法水質基準に基づいて 1.0mg/L 以下との定めがあり、水道法施行規則の（衛生上必要な措置）に基づいて 0.1mg/L 以上と定められている。下限は設定しておくべきであり、上限は地域によって 0.6mg/L を超えるところも多い。

2. バリア施設（イヌ、サル、ブタ、その他）

バリア施設のイヌ、サル、ブタ、その他においては、生産施設は環境検査を実施している施設が少なく、今回の結果を元に推奨値を設定することは難しい。従って非バリア施設の環境条件も参考に検討した結果、サル施設の温度は 25±3℃を推奨値とする。その他の項目はマウス、ラット、モルモット、ウサギに準ずる。

3. 非バリア施設（マウス、ラット、モルモット、ウサギ）

基本的な環境条件はバリア施設と同様である。

4. 非バリア施設（イヌ、サル、ブタ、その他）

基本的な環境条件はバリア施設と同様である。ただし、サルの非バリア生産施設の気圧は、飼育室を前室・廊下等より低く（特に検疫時）設定することが多く、飼育動物の封じ込めレベルや施設の利用目的に応じた設定が必要である。